

侵襲性肺炎球菌感染症

千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症は、2013年14～52週に53例、2014年に66例、2015年に113例、2016年に151例の届出があった。2017年1～9週に45例の届出があり、過去同時期より多くなっているため、2013年14週から2017年9週に届出された428例の発生状況をまとめた。

類型別では、患者423例(98.8%)、感染症死亡者の死体5例(1.2%)であった。

性別は、男性260例(60.7%)、女性168例(39.3%)であった(表)。

年齢群別では、70代105例(24.5%)、60代79例(18.5%)、5歳未満75例(17.5%)、80代61例(14.3%)が多かった(表)。

診断月別届出数を図に示す。

図 2013年14週～2017年9週千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症
診断月別届出数 428例

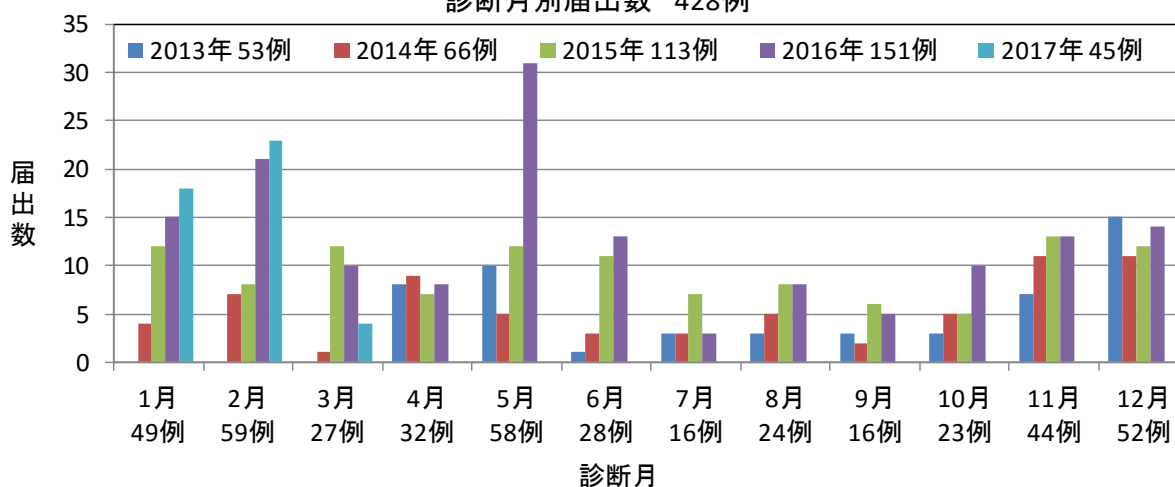


表 2013年14週～2017年9週千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症 年別・性別・年齢群別届出数

	2013年14～52週		2014年		2015年		2016年		2017年1～9週		合計	
	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%
性別												
男性	32	60.4	41	62.1	67	59.3	92	60.9	28	62.2	260	60.7
女性	21	39.6	25	37.9	46	40.7	59	39.1	17	37.8	168	39.3
年齢群												
5歳未満	18	34.0	11	16.7	17	15.0	23	15.2	6	13.3	75	17.5
5～9歳	1	1.9	0	0.0	4	3.5	3	2.0	1	2.2	9	2.1
10代	1	1.9	0	0.0	2	1.8	4	2.6	1	2.2	8	1.9
20代	0	0.0	0	0.0	1	0.9	3	2.0	0	0.0	4	0.9
30代	3	5.7	2	3.0	8	7.1	6	4.0	2	4.4	21	4.9
40代	1	1.9	4	6.1	4	3.5	14	9.3	3	6.7	26	6.1
50代	3	5.7	6	9.1	7	6.2	5	3.3	2	4.4	23	5.4
60代	8	15.1	16	24.2	19	16.8	26	17.2	10	22.2	79	18.5
70代	10	18.9	14	21.2	26	23.0	43	28.5	12	26.7	105	24.5
80代	8	15.1	11	16.7	17	15.0	17	11.3	8	17.8	61	14.3
90代	0	0.0	2	3.0	8	7.1	7	4.6	0	0.0	17	4.0
合計	53	100.0	66	100.0	113	100.0	151	100.0	45	100.0	428	100.0

症状等は、発熱364例(85.0%)、菌血症274例(64.0%)、肺炎192例(44.9%)、咳144例(33.6%)、意識障害98例(22.9%)、全身倦怠感89例(20.8%)、髄膜炎67例(15.7%)、頭痛54例(12.6%)、嘔吐34例(7.9%)、項部硬直33例(7.7%)、痙攣20例(4.7%)、中耳炎11例(2.6%)、大泉門膨隆2例(0.5%)の記載があった(複数報告あり)。

検査方法では、分離・同定による病原体の検出が421例(血液396例、髄液53例)、病原体抗原の検出が45例、検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出が15例(血液8例、髄液2例、記載なし6例)であった(複数報告あり)。